

# みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2022

国営明石海峡公園 神戸地区  
あいな里山公園

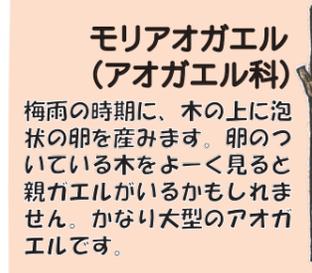
6月中旬～7月中旬

みごろスタンプ  
園内に  
ミニスタンプ  
があるよ。  
さがしにいこう!

--- 季節のおすすめ散策コース (ゆっくり歩いて1時間)  
- - - おてがるコース (ゆっくり歩いて30分)



**トノサマガエル(アカガエル科)**  
緑に黒い斑点模様が特徴的なカエル。田んぼに水が張られる頃、繁殖期を迎えます。



**モリアオガエル(アオガエル科)**  
梅雨の時期に、木の上に泡状の卵を産みます。卵のついている木をよーく見ると親ガエルがいるかもしれません。かなり大型のアオガエルです。



**ミヤマカラスアゲハ(アゲハチョウ科)**  
光を反射して青く光ってみえる、里山を代表する美しいアゲハチョウです。



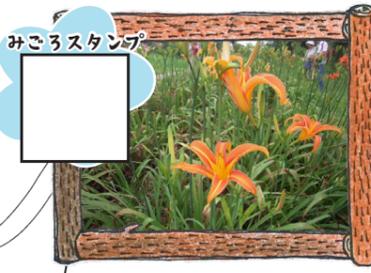
**ホトギス(ホトギス科)**  
鳴き声かユニークで、昔から「東京特許許可局」とか「テッペンカケタカ」などと表現されます。田植えの頃に鳴きはじめます。



**リョウブ(リョウブ科)**  
昔、食料の少ない時に、若葉を摘んでリョウブ飯にしたとか。



**ヤブレガサモドキ(キク科)**  
葉っぱが破れた傘のように見えることからこの名前がつけました。小さな花がたくさん集まって咲きます。



**ノカンゾウ(ススキノキ科)**  
ヤブカンゾウと同じく、若葉やつほみは食用になります。



**ヤマモモ(実)(ヤマモモ科)**  
果実は食用に、葉はお茶に、樹皮は染料に、余すところなく使えるあいなシンボル樹です。

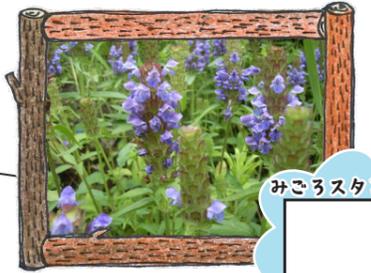
※ヤマモモの実はイベントにお申込みのお客様に摘んでいただきます。絶対に採らないでください。



**クマノミズキ(ミズキ科)**  
花の後は、紅葉や花柄の紅い色彩も楽しめる木です。



**オオトラノオ(サクラソウ科)**  
小さな白い花が集まってできた花穂が、トラの尾っぽを思わせる、かわいらしい花。



**ウツボグサ(シソ科)**  
ウツボとは、弓矢を入れておく道具のこと。真夏に花穂が枯れることから、夏枯草とも。西洋でもセルフールというハーブとして活用されています。



**ヤブカンゾウ(ススキノキ科)**  
花を觀賞するだけでなく、若葉やつほみは食用になります。



**カンザシギボウシ(キジカクシ科)**  
花が柄の先に集まって咲く様子から「かんざし」の名前がつけました。葉脈のラインが美しい植物です。



**ドクダミ(ドクダミ科)**  
ちぎると独特のにおいがしますが、乾かすと臭みが消えておいしいドクダミ茶になります。



**ムラサキシキブ(シソ科)**  
果実が美しい紫色に熟すことからこの名前がありますが、花は淡い桃色です。

